



「お父さんのためのベビーカー安全教室」 参加者募集！



小さなお子様を連れての外出は、荷物も多く、ベビーカーがとても便利です。一方でベビーカーの利用方法によっては、事故につながることもあります。近年、父親のベビーカー利用が増えていることから、実際の電車車両等を使用した「お父さんのためのベビーカー安全教室」を開催します。ベビーカーで電車を利用するときどんな危険が潜んでいるのか、実際に体験しながら学んでみませんか。

- **開催日時** 2010年3月26日（金曜日） 12:45-16:30(集合 12:30)
- **会場** JR 東日本 東京総合車両センター構内（京浜東北線大井町駅より徒歩5分）
- **参加費用** 無料（会場までの交通費は各自でご負担下さい）
- **内容** ※当日、内容を変更する場合があります。



時 間	内 容
12:30	JR 大井町駅集合（予定） 会場に移動
12:45～13:05	オリエンテーション
13:05～13:15	一時限目「鉄道車両のドアの仕組み」 鉄道車両の「ドア」について、開閉の仕組み、人や物が挟まった時の検知方法などがどのような構造になっているかを、実際の車両を用いて参加者にレクチャーいたします。
13:15～13:50	二時限目「ベビーカーがドアに挟まったら！」 ベビーカーがドアに挟まった状況を実体験して頂きます。
13:50～14:00	～休憩～
14:00～14:20	三時限目「車掌を体験してみよう」 通常の列車では、車掌がドアを開閉します。参加者には実際に車掌と同じドア開閉操作を体験していただきます。
14:20～14:50	四時限目「電車は急に止まる場合があります」 電車が非常ブレーキをかけた際、ベビーカーから手を離していたり、ストッパーをかけていない場合に、ベビーカーがどのような影響を受けるか、実際に車両を運転して実体験して頂きます。
14:50～15:15	～移動及び休憩～
15:15～16:00	東京総合車両センター見学会 日ごろあまり目にする事の出来ない、鉄道車両メンテナンスの最前線をご覧ください！
16:00～16:30	五時限「まとめ」 ここまでの体験を踏まえ、参加者からの質問に担当者がお答えいたします。鉄道を利用した移動というごく身近な行動の中に潜む「危険」を参加者が共有するとともに、安全に電車をご利用いただくためのチェックポイントを参加者で確認します。

- **お 申 込**
氏名、年齢、職業、お子様の年齢、使用しているベビーカーのメーカー、連絡先を明記の上、下記事務局まで Email にてお申込下さい。
- **そ の 他**
会場施設の関係上、託児はお受けしかねますのでご了承下さい。
本取り組みは、キャンペーン活動の一環としてプレスリリースいたします。当日取材が入る可能性があり、第1回目の休憩時にインタビューを受ける可能性があります。

お問い合わせ

子育て応援とうきょう会議事務局（東京都福祉保健局少子社会対策部計画課） 渡邊・貞利
TEL 03-5320-4115 Email office@kosodateswitch.jp/
Web <http://tokyo.kosodateswitch.jp/>

